

学校法人菊武学園 名古屋産業大学 ガバナンス・コード適合状況に関する報告書

(令和4年8月10日)

第1章 私立大学の自主性・自律性（特色ある運営）の尊重	適合状況	解説等
1-1 建学の精神	○	
1-2 教育と研究の目的	○	
第2章 安定性・継続性（学校法人運営の基本）	適合状況	解説等
2-1 理事会	○	
2-2 理事	○	
2-3 監事	○	
2-4 評議員会	○	
2-5 評議員	○	
第3章 教学ガバナンス（権限・役割の明確化）	適合状況	解説等
3-1 学長	○	
3-2 教授会	○	
第4章 公共性・信頼性（ステークホルダーとの関係）	適合状況	解説等
4-1 学生に対して	○	
4-2 教職員等に対して	○	4-2
4-3 社会に対して	○	4-3
4-4 危機管理及び法令順守	○	
第5章 透明性の確保（情報公開）	適合状況	解説等
5-1 情報公開の充実	○	5-1

適合状況の解説

4-2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボード・ディベロップメント (BD) : 私学高等教育研究所主催の公開研究会「ガバナンス改革の行方」の開催について案内し、視聴環境を整備する等、適切に対応している。</li> <li>・ファカルティ・ディベロップメント (FD) /スタッフ・ディベロップメント (SD) : 学園研修、学内FD・SD等で研修の機会を定期的に設けている。令和3年度は授業改善や教学マネジメントと質保証に関する研修を開催し、令和4年度もFD・SDの実施を計画している。</li> </ul>

4-3

地元の尾張旭市や近隣の瀬戸市と連携し、絶滅危惧種の保護活動や環境美化活動を継続して実施している。また令和3年5月に宣言したSDGsの取り組みを通じ国内外において環境教育の普及を行い、令和4年度はドローンを活用した環境調査や尾張旭市と連携した市民講座の実施等をすすめている。

5-1

「名古屋産業大学 内部質保証方針」を定めることにより責任体制を明確にし、内部質保証に関するPDCAサイクルを機能させるとともに、社会に対する説明責任を果たすため、教育活動の状況、自己点検・評価の結果、認証評価機関等からの指摘事項とそれらへの対応状況等を公表している。